

PRI 報告フレームワーク

プライベート・エクイティ

2024

最終改訂日: 2024年1月

本資料は日本語参考訳です。英語の PRI REPORTING FRAMEWORK も併せてご確認ください。
日本語版と英語版で相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。

本資料は情報提供のみを目的としています。従って、投資、法律、税務、その他いかなる形式の助言も意図しておらず、投資その他の意思決定を行う際に依拠することを意図していません。すべてのコンテンツは、著者および発行者が助言を提供するものではないことを理解した上で提供されています。PRI アソシエーションは、参照される可能性のある Web サイトまたはその他の情報リソースのコンテンツについて責任を負わず、そこに含まれる情報を保証しません。PRI アソシエーションは、誤記や脱落、この文書に記載された情報に基づいて行われた決定や行動、またはそのような決定や行動に起因する損失や損害について責任を負いません。すべての情報は「現状」で提供され、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用から得られる結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。

著作権 © PRI Association Limited (2024). 無断複写・転載を禁じます。PRI アソシエーションの書面による事前の同意なしに、このコンテンツを複製したり、他の目的に使用したりすることはできません。

目次

ポリシー	6
投資ガイドライン [PE 1]	6
PE 1	6
資金調達	8
投資家へのコミットメント[PE 2]	8
PE 2	8
投資前	10
重要課題(マテリアリティ)分析[PE 3、PE 3.1]	10
PE 3	10
PE 3.1	12
デュー・デリジェンス[PE 4、PE 5]	14
PE 4	14
PE 5	16
投資後	19
モニタリング[PE 6、PE 6.1、PE 7、PE 7.1、PE 8、PE 9、PE 10、PE 11、PE 12、PE 12.1]	19
PE 6	19
PE 6.1	22

PE 7	24
PE 7.1	27
PE 8	28
PE 9	29
PE 10	31
PE 11	32
PE 12	33
PE 12.1	36
エグジット[PE 13]	37
PE 13	37
ESG ポートフォリオ情報の開示 [PE 14]	40
PE 14	40

ポリシー

投資ガイドライン [PE 1]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 1	ゲートウェイ	該当なし	投資ガイドライン	1~6	コア

貴組織では現在、どのようなプライベート・エクイティ固有の ESG ガイドラインを責任投資ポリシーの対象としていますか。

- (A) 投資対象のセクターと地域に合わせた ESG アプローチに関するガイドライン
- (B) 投資先の戦略や企業ステージ(ベンチャー・キャピタル、バイアウト、ディストレスなど)に合わせた ESG アプローチに関するガイドライン
- (C) 投資前スクリーニングに関するガイドライン
- (D) 最低限の ESG デュー・デリジェンス要件に関するガイドライン
- (E) ESG の組み入れアプローチを短期プランまたは 100 日プラン(またはそれに相当するもの)に含めることに関するガイドライン
- (F) ESG の組み入れアプローチを長期的な価値創出の取り組みに含めることに関するガイドライン
- (G) ESG リスク、ESG 機会、および ESG インシデントのモニタリングするためのアプローチに関するガイドライン
- (H) ESG 報告のアプローチに関するガイドライン
- (I) 責任投資ポリシーには、プライベート・エクイティ固有の ESG ガイドラインは含まれていない

説明

指標の目的	本指標の目的は、署名機関の責任投資ポリシーにプライベート・エクイティ投資に関する環境、社会およびガバナンス・ガイドラインが含まれるかどうかを判断することです。多くの投資家は、すべての資産クラスを対象とする組織全体の ESG または責任投資ポリシーを定めています。すべての資産クラスをカバーするポリシーでは、プライベート・エクイティへの適用について解釈の余地が残されている可能性があります。組織のプライベート・エクイティ投資に関する特定の ESG ガイドラインにこれを適用すること、およびプライベート・エクイティへの投資に対する組織の ESG アプローチの全範囲を含めることは、優れた取り組みであると考えられるとともに、プライベート・エクイティへの責任投資に関連する予測と取り組みを合致させることにもつながります。
追加報告ガイダンス	組織のプライベート・エクイティ投資に固有の ESG ガイドラインは、独立した文書に示されている場合もあれば、ポリシー全体の文書の一部として示されている場合もあります。

	「100日プラン(またはそれに相当するもの)」は、投資家が投資初期の100日間で着手する必要がある活動リストを含む文書です。	
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド:プライベート・エクイティ(An introduction to responsible investment: private equity)を参照してください。</p> <p>責任投資ポリシーの作成方法に関するガイダンスについては、責任投資の入門ガイド:ポリシー、ストラクチャーおよびプロセス(An introduction to responsible investment: policy, structure and process)を参照してください。</p>	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	<p>本指標全体で100ポイント。</p> <p>A~Hから7つ以上選択した場合は100ポイント。ただし、Cが選択されていることが必須。</p> <p>A~Hから5~6つ選択した場合は75ポイント。ただし、Cが選択されていることが必須。</p> <p>A~Hから3~4つ選択した場合は50ポイント。ただし、Cが選択されていることが必須。</p> <p>A~Hから1~2つ選択した場合は25ポイント。ただし、Aが選択されている(またはCを除くA~Hから4~7つ選択されている)ことが必須。</p> <p>Cを除くA~Hから1~3つ選択した場合は0ポイント。</p> <p>Iの場合は0ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「I」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。</p>
乗数	High(高)	

資金調達

投資家へのコミットメント[PE 2]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 2	ゲートウェイ	該当なし	投資家へのコミットメント	1、4	コア

報告年度中に組成したすべてのファンドについて、**リミテッド・パートナーシップ契約(LPA)**、補足文書、またはその他のファンドの構成文書においてどのような種類の正式な責任投資コミットメントをしましたか。

この報告年度中に組成したファンドがない場合は、最長 5 年前まで、ファンドを組成した最後の報告年度を参照してください。

- (A) 標準的な既定の手続きとして、責任投資コミットメントを LPA(またはそれに相当するもの)に組み入れた
- (B) 顧客の要請に応じて、責任投資コミットメントを LPA(またはそれに相当するもの)に追加した
- (C) 顧客の要請に応じて、責任投資コミットメントを補足文書に追加した
- (D) 該当報告年度において、正式な責任投資コミットメントを行わなかった
- (E) 過去 5 年間資金調達をしていないため、該当しない

説明

指標の目的	本指標の目的は、ゼネラル・パートナー(GP)が ESG と責任投資(RI)コミットメントをファンド・レベルの法的文書に組み入れたかどうか、およびその時期について理解することです。LPA、補足文書、またはその他のファンドの構成文書において、正式に責任投資へのコミットメントを表明することは、優れた取り組みであると考えられます。
追加報告ガイダンス	本指標は、ファンド構造から投資する GP にのみ適用されます。 署名機関は、LP の要請によって LPA、および/または補足文書、および/またはその他のファンドの構成文書に含まれた、または GP が自ら含めた、責任投資の実施に関連する正式なコミットメント、ならびに ESG 問題の検討事項について報告してください。 報告年度中に組成したファンドがない場合は、ファンドを組成した最後の報告年度(最長で 5 年前まで)を参照してください。

他のリソース	その他のガイダンスについては、 責任投資要件のプライベート・エクイティ・ファンド条件への組み入れ (Incorporating responsible investment requirements into private equity fund terms) を参照してください。	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A の場合は 100 ポイント。 B の場合は 66 ポイント。 C の場合は 33 ポイント。 D の場合は 0 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>「E」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。 署名機関は、本指標のために減点されることはありません。</p>
乗数	High(高)	

投資前

重要課題(マテリアリティ)分析[PE 3、PE 3.1]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 3	ゲートウェイ	PE 3.1	重要課題(マテリアリティ)分析	1	コア
<p>報告年度中に、潜在的プライベート・エクイティ投資について、ESG 重要課題(マテリアリティ)分析をどのように実施しましたか。</p> <p>署名機関が報告年度に潜在的なプライベート・エクイティ投資を分析しなかった場合は、潜在的なプライベート・エクイティ投資を分析した直近の報告年度を参照してください。</p>					
<input type="radio"/> (A) ケースごとに状況が異なるため、ポートフォリオ企業レベルで ESG 重要課題(マテリアリティ)を評価した			[ドロップダウン・リスト] (1) すべての潜在的プライベート・エクイティ投資が対象 (2) 過半数の潜在的プライベート・エクイティ投資について (3) 一部の潜在的プライベート・エクイティ投資が対象		
<input type="radio"/> (B) 業界レベルとポートフォリオ企業レベルを組み合わせで ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った			[同上]		
<input type="radio"/> (C) 業界レベルのみで ESG 重要課題(マテリアリティ)を評価した			[同上]		
<input type="radio"/> (D) 潜在的プライベート・エクイティ投資について、ESG 重要課題(マテリアリティ)分析は行わなかった					

説明			
指標の目的	本指標の目的は、署名機関による重要性評価のレベルと質の記述を通じ、投資前の段階におけるデュー・デリジェンス・プロセスの標準的な要素として ESG 要因の重要課題（マテリアリティ）分析を署名機関がどのように実施しているかを特定することです。内部リソースまたは外部リソースのどちらを使用していても、ポートフォリオ企業レベルの重要課題（マテリアリティ）分析を行うことは、優れた取り組みであると考えられます。		
追加報告ガイダンス	署名機関は、ESG 重要課題（マテリアリティ）分析が検討された潜在的プライベート・エクイティ投資の比率を記述する必要があります。		
他のリソース	重要課題（マテリアリティ）分析に関する情報は、 SASB を使用した PRI モニタリングの実施と、プライベート・エクイティのリソース開示 (Using SASB to implement PRI monitoring and disclosure resources for private equity) に関する PRI ブログの投稿を参照してください。		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	[PE 3.1]		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。複数の英字項目を選択した場合、最高スコアの英字項目と対象範囲の組み合わせが指標スコアとして記録されます。		
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A の場合は 50 ポイント。 B の場合は 33 ポイント。 C の場合は 16 ポイント。 D の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: すべて(1)の場合は 50 ポイント。 過半数(2)の場合は 25 ポイント。 一部(3)の場合は 12 ポイント。 その他の詳細: 「D」を選択すると、本指標と次の指標において 0/100 ポイントになります: PE 3.1
乗数	High(高)		

指標 ID	依存関係	PE 3	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 3.1	ゲートウェイ	該当なし	重要課題(マテリアリティ)分析	1	コア

報告年度中に、潜在的プライベート・エクイティ投資の ESG 重要課題(マテリアリティ)分析で、どのツール、基準、データを使用しましたか。

署名機関が報告年度に潜在的なプライベート・エクイティ投資を分析しなかった場合は、潜在的なプライベート・エクイティ投資を分析した直近の報告年度を参照してください。

- (A) GRI スタンダードを使用して、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (B) SASB スタンダードを使用して、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (C) 国連による持続可能な開発目標(SDGs)を使用して、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (D) IFC パフォーマンス・スタンダード(または開発金融機関が使用する類似の基準)に詳述された環境および社会的要因を使用して、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (E) 気候開示(TCFD 推奨やその他の気候リスクなど)および/またはエクスポージャー分析ツールを使用して、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (F) 国連によるビジネスと人権に関する指導原則(UNGPs)を使用して、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (G) プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析で、地政学およびマクロ経済学的留意事項を使用した
- (H) 潜在的ポートフォリオ企業に対するエンゲージメントを行って、プライベート・エクイティの ESG 重要課題(マテリアリティ)分析を行った
- (I) その他
具体的に記入: _____ [自由記述(必須): スモール]

説明

指標の目的	本指標の目的は、投資前の段階のデュー・デリジェンス・プロセスの標準的な要素として(内部チェックリストであるか、ESG ツールであるか、またはスコアカードであるかを問わず) ESG 要因の重要課題(マテリアリティ)分析を行うために組織が使用するツール、基準、またはデータを把握することです。この分析は、組織内のツールまたは方法論を使用して内部で行われることも、サービス・プロバイダーを介して外部で行われることもあります。徹底した ESG 重要課題(マテリアリティ)評価が確実に行われるよう、幅広いツールとリソースを使用することは、優れた取り組みであると考えられます。使用される具体的なツールとリソースは、潜在的投資の特性によって異なる可能性があります(例えば、業界セクター、地理)。
追加報告ガイダンス	プライベート・エクイティの重要課題(マテリアリティ)分析を実施するには、直接的なエンゲージメントを通じて潜在的企業から情報を引き出す方法があります。これは、カスタマイズされた調査または欧州投資 ESG デュー・デリジェンス・アンケート(Invest Europe ESG DDQ)を使用した調査の形式か、類似のデュー・デリジェンス・アンケートの形式で実施されることがあります。

	<p>記載の各種基準へのリンク:</p> <p>グローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) 基準 (Global Reporting Initiative (GRI) Standards)</p> <p>価値報告財団 (サステナビリティ会計基準審議会 – SASB スタンダード) (Value Reporting Foundation (Sustainability Accounting Standards Board - SASB standards))</p> <p>気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) (Task Force on Climate-related Financial Disclosures (TCFD))</p> <p>IFC パフォーマンス・スタンダード (IFC Performance Standards)</p> <p>国連によるビジネスと人権に関する指導原則 (UN Guiding Principles on Business and Human Rights (UNGPs))</p> <p>国連による持続可能な開発目標 (SDGs) (UN Sustainable Development Goals (SDGs))</p>
他のリソース	<p>重要課題 (マテリアリティ) 分析に関する情報は、SASB を使用した PRI モニタリングの実施と、プライベート・エクイティのリソース開示 (Using SASB to implement PRI monitoring and disclosure resources for private equity) に関する PRI ブログの投稿を参照してください。</p>
ロジック	
依存関係	[PE 3]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A~H から 3 つ以上選択した場合は 100 ポイント。</p> <p>A~H から 2 つ選択した場合は 66 ポイント。</p> <p>A~H から 1 つ選択した場合は 33 ポイント。</p> <p>I の場合は 0 ポイント。</p>
「その他」の採点	「その他 (I)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。
乗数	Moderate(中)

デュー・デリジェンス[PE 4、PE 5]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 4	ゲートウェイ	該当なし	デュー・デリジェンス	1	コア

報告年度中に、**重要な ESG 要因**はプライベート・エクイティ投資の選定にどのような影響を及ぼしましたか。

署名機関が報告年度に潜在的なプライベート・エクイティ投資を選定しなかった場合、潜在的なプライベート・エクイティ投資を選定した直近の報告年度を参照してください。

<input type="checkbox"/> (A) 重要な ESG 要因を使用してリスクが特定された	[ドロップダウン・リスト] (1) すべての潜在的プライベート・エクイティ投資が対象 (2) 過半数の潜在的プライベート・エクイティ投資について (3) 一部の潜在的プライベート・エクイティ投資が対象
<input type="checkbox"/> (B) 投資委員会 (またはそれに相当するもの) によって、重要な ESG 要因が検討された	[同上]
<input type="checkbox"/> (C) 重要な ESG 要因を使用して、100 日プラン (またはそれに相当するもの) の是正措置が特定された	[同上]
<input type="checkbox"/> (D) 重要な ESG 要因を使用して、価値創出の機会が特定された	[同上]
<input type="checkbox"/> (E) 重要な ESG 要因により、軽減できないほど ESG リスク が高い場合に、デュー・デリジェンスの段階で潜在的な投資を断念する決定に影響が及ぼされた	[同上]
<input type="checkbox"/> (F) 重要な ESG 要因により、提示価格および／または支払い価格の観点から投資に影響が及ぼされた	[同上]

○ (G)重要な ESG 要因はプライベート・エクイティ投資の選定に影響を及ぼさなかった

説明				
指標の目的	本指標の目的は、組織が投資選定プロセスにおいて ESG 関連情報を含んでいるかどうかを理解し、実施した分析の度合いを確認することです。報告年度中に、すべてのプライベート・エクイティ投資選定の意思決定に ESG 要因を重要な要素として考慮することは、優れた取り組みであると考えられます。			
追加報告ガイダンス	<p>プライベート・エクイティ投資選定とは、報告年度中に行われた新規のプライベート・エクイティ投資を意味します。</p> <p>「100 日プラン(またはそれに相当するもの)」は、投資家が投資初期の 100 日間で着手する必要がある活動リストを含む文書です。</p> <p>「デュー・デリジェンスの段階で潜在的な投資を断念する決定」は、デュー・デリジェンス段階中に問題が明らかになった後、潜在的な投資を放棄する決定を意味します。これは、除外リストを使用して潜在的な投資のスクリーニングをした後に完了します。</p>			
他のリソース	その他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ(An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。			
ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目(50 ポイント)と対象範囲(50 ポイント)の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 5 つの組み合わせに基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~F から 5 つ以上選択した場合は 50 ポイント。ただし、F が選択されていることが 必須 。 A~F から 4 つ以上選択した場合は 33 ポイント。 A~F から 2~3 つ選択した場合は 16 ポイント。 A~F から 1 つ、 または G を選択した場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から F の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて(1)の場合は 50/5 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/5 ポイント。 一部(3)の場合は 12/5 ポイント。	その他の詳細: 「G」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。
乗数	High(高)			

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 5	ゲートウェイ	該当なし	デュー・デリジェンス	1	コア

重要な ESG 要因の特定後、潜在的なプライベート・エクイティ投資に対してこれらの要因の**デュー・デリジェンス**を実行するために、どのようなプロセスを使用していますか。

プライベート・エクイティ投資で少数持分を持つ投資家は、重要な ESG 要因が可能な限り完全に特定および評価されるようにするために、協調投資の状況でポートフォリオ企業、過半数の株主、および／または主要投資家に対してどのように影響を与えているかについて、オプションを選択してください。

<input type="checkbox"/> (A) 初期の危険信号を発見するために、ESG チェックリストを使用して、全体的なレビューまたはデスクトップ・レビューを実施している	[ドロップダウン・リスト] (1) すべての潜在的プライベート・エクイティ投資が対象 (2) 過半数の潜在的プライベート・エクイティ投資が対象 (3) 一部の潜在的プライベート・エクイティ投資が対象
<input type="checkbox"/> (B) 詳細な ESG アンケートをターゲットとする企業に送付している	[同上]
<input type="checkbox"/> (C) 第三者コンサルタントを起用して、特定の重要な ESG 要因に関するテクニカルなデュー・デリジェンスを行っている	[同上]
<input type="checkbox"/> (D) 現場訪問を行う	[同上]
<input type="checkbox"/> (E) 経営陣とスタッフとの詳細なインタビューを実施している	[同上]
<input type="checkbox"/> (F) 詳細な外部ステークホルダー分析および／またはエンゲージメントを行っている	[同上]

<input type="checkbox"/> (G) ESG デュー・デリジェンスの調査結果を、他の主要なデュー・デリジェンス(例: 商業、会計、法務)と同様に、関連するすべての投資プロセス文書に組み入れている	[同上]
<input type="checkbox"/> (H) 他の主要なデュー・デリジェンス(商業、会計、法務など)と同様に、 投資委員会 (またはそれに相当するもの)がすべての ESG デュー・デリジェンス完了の最終的な責任を負っている	[同上]
<input type="checkbox"/> (I) その他 具体的に記入: _____ [自由記述(必須): スモール]	[同上]
<input type="checkbox"/> (J) 潜在的プライベート・エクイティ投資について、重要な ESG 要因に対するデュー・デリジェンスは行っていない	

説明	
指標の目的	<p>本指標の目的は、投資前の段階で重要な ESG に関連するリスクに対してデュー・デリジェンスを実行するために組織が使用するプロセスを把握することです。そのようなプロセスに対してどのような内部または外部リソースが割り当てられるか、および価値を創出する機会を特定するために重要な ESG 要因がどのように使用されるかについても評価されます。重大な ESG 関連のリスクを特定して評価するとともに、投資後の期間中に ESG の価値創出機会を特定して行動できるように、デュー・デリジェンスを十分に実行することは、優れた取り組みであると考えられます。ESG デュー・デリジェンスの最低基準は、一般に入手可能な情報に関する机上ベースでのリサーチ、および対象の業界とセクターへの ESG の影響に関する実践的知識の組み合わせとすることがあります。</p>
追加報告ガイダンス	<p>「現場訪問を行う」とは、投資を検討している資産またはポートフォリオ企業の運営現場を物理的に訪問することを意味します。</p> <p>「第三者コンサルタント」は、参加者が ESG 戦略の策定および／または実施の一部またはすべてを委託する組織または個人を意味します。</p> <p>ターゲットとする企業に送付する ESG アンケートの事例については、プライベート・エクイティ向け ESG デュー・デリジェンス・アンケート(ESG Due Diligence Questionnaire for Private Equity)を参照してください。</p>
ロジック	
依存関係	[OO 21]

ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 6 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~F から 4 つ以上選択し、かつ G と H の両方を選択した場合は 50 ポイント。</p> <p>A~F から 3 つ選択し、かつ G と H の両方を選択した場合は 33 ポイント。</p> <p>A~H から 2 つ以上選択した場合は 16 ポイント。</p> <p>A~I から 1 つ、または J を選択した場合は 0 ポイント。</p>	および	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から H の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです:</p> <p>すべて (1) の場合は 50/6 ポイント。</p> <p>過半数 (2) の場合は 25/6 ポイント。</p> <p>一部 (3) の場合は 12/6 ポイント。</p>
	<p>その他の詳細:</p> <p>「J」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>評価は、回答オプションの最も高いスコアの組み合わせに基づいて行われます。</p>		
「その他」の採点	「その他 (I)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。		
乗数	High(高)		

投資後

モニタリング[PE 6、PE 6.1、PE 7、PE 7.1、PE 8、PE 9、PE 10、PE 11、PE 12、PE 12.1]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 6	ゲートウェイ	PE 6.1	モニタリング	1	コア
<p>報告年度中に、プライベート・エクイティ投資において、重要な ESG 要因に関する 1 つ以上の KPI を追跡しましたか。</p> <p>運用資産 (AUM) の割合ではなく、ポートフォリオ企業の数を対象としています。PRI では、資産またはポートフォリオ企業を取得後、ESG データを利用できない期間があることを認識しています。重要な ESG 要因について、KPI の導入と追跡を意図している場合は「はい」と回答してください。</p>					
			これが適用されるポートフォリオ企業の割合：		
<input type="checkbox"/> (A) はい、 環境要因 に対する KPI を追跡した			[ドロップダウン・リスト] (1) 0% 超 ~ 10% (2) 10% 超 ~ 50% (3) 50% 超 ~ 75% (4) 75% 超 ~ 95% (5) 95% 超		
<input type="checkbox"/> (B) はい、 社会要因 に対する KPI を追跡した			[同上]		
<input type="checkbox"/> (C) はい、 ガバナンス要因 に対する KPI を追跡した			[同上]		

○ (D)プライベート・エクイティ投資全体にわたり重要な ESG 要因について KPI を追跡しなかった

説明			
指標の目的	本指標の目的は、デュー・デリジェンスの段階で特定された重要なリスクと機会に基づき、ポートフォリオ企業の重要な ESG 要因の KPI を積極的にモニタリングする際の、ESG パフォーマンスに対する組織のアプローチを把握することです。署名機関にとって、ESG 領域全体からの関連要因をパフォーマンスのモニタリングに含めることは、優れた取り組みであると考えられます。ESG 指標のパフォーマンスを継続的に収集することが、署名機関が資産の ESG パフォーマンスの理解やリスク管理、顧客報告を向上させる上で役立ちます。		
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ (An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。</p> <p>ESG モニタリングの詳細は、プライベート・エクイティにおける ESG モニタリング、報告、対話 (ESG monitoring, reporting and dialogue in private equity) を参照してください。</p> <p>業界主導の標準化された ESG 指標セットの事例については、https://ilpa.org/ilpa_esg_roadmap/esg_data_convergence_project/ESGデータ・コンバージェンス・プロジェクト (ESG Data Convergence Project) を参照してください。</p>		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	[PE 6.1]		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~C から 3 つすべて選択した場合は 50 ポイント。 A~C から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~C から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 D の場合は 0 ポイント。	および	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から C の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです:</p> <p>(5) 95%超の場合は 50/3 ポイント (4) 75%超~95%の場合は 40/3 ポイント (3) 50%超~75%の場合は 30/3 ポイント (2) 10%超~50%の場合は 20/3 ポイント (1) 0%超~10%の場合は 10/3 ポイント</p> <p>その他の詳細: 「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p>
乗数			

	Moderate(中)
--	-------------

指標 ID	依存関係	PE 6	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 6.1	ゲートウェイ	該当なし	モニタリング	1	プラス 自主開示

報告年度中に、プライベート・エクイティ投資全体にわたって追跡した重要な ESG 要因についての KPI の事例を記載してください。

- (A) ESG KPI #1 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (B) ESG KPI #2 _____ :自由記述(任意)スモール]
- (C) ESG KPI #3 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (D) ESG KPI #4 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (E) ESG KPI #5 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (F) ESG KPI #6 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (G) ESG KPI #7 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (H) ESG KPI #8 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (I) ESG KPI #9 _____ [自由記述(任意):スモール]
- (J) ESG KPI #10 _____ [自由記述(任意):スモール]

説明	
指標の目的	署名機関にとって、ESG 領域全体からの関連要因をパフォーマンスのモニタリングに含めることは、優れた取り組みであると考えられます。ESG 指標のパフォーマンスを継続的に収集することが、署名機関が資産の ESG パフォーマンスの理解やリスク管理、顧客報告を向上させる上で役立ちます。
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ (An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。</p> <p>ESG モニタリングの詳細は、プライベート・エクイティにおける ESG モニタリング、報告、対話 (ESG monitoring, reporting and dialogue in private equity) を参照してください。</p> <p>業界主導の標準化された ESG 指標セットの事例については、ESG データ・コンバージェンス・プロジェクト (ESG Data Convergence Project) を参照してください。</p>

ロジック	
依存関係	[PE 6]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 7	ゲートウェイ	PE 7.1	モニタリング	1、2	コア
<p>プライベート・エクイティ投資の重要な ESG 要因に関連する目標を満たすために、どのようなプロセスを構築していますか。</p> <p>プライベート・エクイティ投資で少数持分を持つ投資家は、重要な ESG 要因が可能な限り積極的に管理されるようにするために、協調投資の状況でエンゲージメントを行うポートフォリオ企業、過半数の株主、および／または主要投資家に対してどのように影響を与えているかについて、オプションを選択してください。</p>					
<input type="checkbox"/> (A) オペレーション・レベルのベンチマークを使用して、セクター・パフォーマンスに対するポートフォリオ企業のパフォーマンスを評価および分析している			[ドロップダウン・リスト] (1) すべてのプライベート・エクイティ投資が対象 (2) 過半数のプライベート・エクイティ投資が対象 (3) 一部のプライベート・エクイティ投資が対象		
<input type="checkbox"/> (B) 継続評価および分析の指針となる、IFC パフォーマンス・スタンダード (IFC Performance Standards) 等の国際的なベスト・プラクティス基準を採用している			[同上]		
<input type="checkbox"/> (C) ポートフォリオ全体にわたり、認証された環境および社会管理システムを実施している			[同上]		
<input type="checkbox"/> (D) 必要なシステムと手続きが確実に整備されるよう、十分な予算を策定している			[同上]		
<input type="checkbox"/> (E) 外部の検証サービスを採用して、パフォーマンス、システム、手続きを監査している			[同上]		
<input type="checkbox"/> (F) 主要なすべてのステークホルダー (例: 地方のコミュニティ、NGO、政府、エンドユーザー) に対するエンゲージメントをポートフォリオ企業レベルで継続している			[同上]		

<input type="checkbox"/> (G)100日プラン、ESGロードマップ、類似のプロセスを導入している	[同上]
<input type="checkbox"/> (H)その他 具体的に記入: _____ [自由記述(必須):スモール]	[同上]
<input type="radio"/> (I)プライベート・エクイティ投資の重要な ESG 要因の目標達成を支援するためのプロセスを構築していない	

説明	
指標の目的	本指標の目的は、組織が重要な ESG 要因の目標を満たすために実行しているプロセスとリソースの深度を知ることです。積極的に ESG パフォーマンスを管理するには、組織がさまざまな潜在的プロセスを導入し、十分なリソースの提供を確保しなければなりません。具体的なプロセスとリソースのレベルはポートフォリオ企業の状況によって異なります。ただし、いずれの場合でも、すべてのプライベート・エクイティ投資における重要な ESG 要因に関する目標を達成するため、これらのプロセスとリソースを定期的に評価し有効性に応じて調整する必要があります。
他のリソース	その他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ (An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。 その他のガイダンスについては、 BII(旧 CDC グループ) ESG ツールキット (BII (formerly CDC Group) ESG toolkit) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	[PE 7.1]
評価	
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 5 つの組み合わせに基づいて決定されます。

	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~G から 5 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A~G から 4 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~G から 2~3 つ選択した場合は 16 ポイント。 A~H から 1 つ、または I を選択した場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から G の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて(1)の場合は 50/5 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/5 ポイント。 一部(3)の場合は 12/5 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「I」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p>
「その他」の採点	「その他(H)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	Moderate(中)			

指標 ID PE 7.1	依存関係	PE 7	サブセクション モニタリング	PRI 原則 1、2	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし			

報告年度中に、**重要な ESG 要因**の目標達成を支援するために構築したプロセスについて、2 つまで説明してください。

プライベート・エクイティ投資で少数持分を持つ投資家は、**重要な ESG 要因**が可能な限り積極的に管理されるようにするために、協調投資の状況でエンゲージメントを行うポートフォリオ企業、過半数の株主、および／または主要投資家に対してどのように影響を与えているかについて、オプションを選択してください。

(A) プロセス 1 _____ [自由記述(任意): ラージ]

(B) プロセス 2 _____ [自由記述(任意): ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関に対して、重要な ESG 要因の目標達成を支援するために用いたプロセスに関する興味深い、革新的または先進的な事例を詳しく説明する機会を提供します。そのため、署名機関は、重要な ESG のリスクと機会の管理におけるさまざまな取り組みと経験を共有することができます。
追加報告ガイダンス	署名機関はこの機会を利用して、前の指標で選択したオプションについて詳しく説明してください。詳細には、特定のプロセスをなぜ、どのように選択したか、プロセス実施の責任を誰が負ったか、プロセスを適用したことによる成功や教訓などを含めることができます。
他のリソース	その他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ(An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[PE 7]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 8	ゲートウェイ	該当なし	モニタリング	1、2	プラス 自主開示

重要な ESG リスクと 100 日プランに統合した ESG 機会を説明してください。なお、遂行責任者と、プロセスがどのようにモニタリングされるかについても含めてください。

[自由記述(任意):ラージ]

説明	
指標の目的	ESG が投資プロセスに十分に統合されていて、プライベート・エクイティ投資と価値創出プロセスの標準ツールキットが活用されていることが重要です。100 日プランは、本ツールキットの一部として含まれています。重要な ESG のリスクと機会が 100 日プランに含まれていない場合、デュー・デリジェンス期間中に発見された重大な問題に早急な対応を取れなくなるリスクが発生します。
追加報告ガイダンス	署名機関はこの機会を利用して、ESG デュー・デリジェンスの結果がポートフォリオ企業にて投資チームおよびその他の専門家により取られたアクションとどのように関連しているかを説明してください。 「100 日プラン(またはそれに相当するもの)」は、投資家が投資初期の 100 日間で着手する必要がある活動リストを含む文書です。
他のリソース	ESG モニタリングの詳細は、 プライベート・エクイティにおける ESG モニタリング、報告、対話 (ESG monitoring, reporting and dialogue in private equity) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID PE 9	依存関係 ゲートウェイ	OO 21 該当なし	サブセクション モニタリング	PRI 原則 1、2	指標種別 コア
---------------	----------------	---------------	-------------------	---------------	------------

投資後、その投資の保有期間にわたり、重要な ESG リスクおよび価値を創出する ESG 機会をどのように管理していますか。

プライベート・エクイティ投資で少数持分を持つ投資家は、重要な ESG 要因が可能な限り積極的に管理されるようにするために、協調投資の状況でエンゲージメントを行うポートフォリオ企業、過半数の株主、および／または主要投資家に対してどのように影響を与えているかについて、オプションを選択してください。

<input type="checkbox"/> (A) 投資前の調査、 デュー・デリジェンス および重要性の所見に基づき、企業特有の ESG アクション・プランを策定している	[ドロップダウン・リスト] (1) すべてのプライベート・エクイティ投資が対象 (2) 過半数のプライベート・エクイティ投資が対象 (3) 一部のプライベート・エクイティ投資が対象
<input type="checkbox"/> (B) 少なくとも年に 1 回、パフォーマンスのモニタリング結果に基づき、ESG アクション・プランを定期的に調整している	[同上]
<input type="checkbox"/> (C) 自社、または雇用している外部アドバイザーが、特定の ESG 価値創出機会を持つプライベート・エクイティ投資を支援している	[同上]
<input type="checkbox"/> (D) 取締役会に対する エンゲージメント を行い、投資後の ESG のリスクと機会を管理している	[同上]
<input type="checkbox"/> (E) その他 具体的に記入: _____ [自由記述(必須): スモール]	[同上]
<input type="radio"/> (F) 投資後に重要な ESG のリスクと機会を管理していない	

説明			
指標の目的	<p>本指標の目的は、投資の保有期間中に価値を創出するために、組織がどのように重要な ESG 要因の管理を活用しているかを知ることです。投資家が進行中のパフォーマンスに応じて更新可能な ESG アクション・プランを策定し、投資の保有期間中に価値を創出することは、優れた取り組みであると考えられます。</p> <p>ESG のリスクと機会を継続的に再評価することで、投資ポートフォリオのパフォーマンスをより理解し、管理において継続的に改善すべき領域を特定する必要があります。構造的なアプローチをとることで、署名機関がポートフォリオ内やポートフォリオ間の ESG パフォーマンスを評価したり、他の運用会社のパフォーマンスを評価することができます。</p>		
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ (An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。</p> <p>詳細については、ESG アクション・プランに関する BII (旧 CDC グループ) のガイダンス (BII (formerly CDC Group) guidance on ESG action plans) を参照してください。</p>		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~D から 3 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A~D から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~D から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から G の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて (1) の場合は 50/3 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/3 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/3 ポイント。
	その他の詳細: 「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。		
「その他」の採点	「その他 (E)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。		
乗数	High (高)		

指標 ID PE 10	依存関係	OO 21	サブセクション モニタリング	PRI 原則 1、2	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし			

少数持分を保有しているプライベート・エクイティ投資において、重要な ESG リスクが常に適切に対処されるようにする方法について説明してください。

[自由記述(任意):ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は、少数持分を持つ投資家が、プライベート・エクイティ投資において重要な ESG リスクが適切に対処されるように、他の投資家やパートナーとどのように協働しているかを説明する機会を提供します。少数持分を持つ投資家が投資先企業の ESG リスクの検討や管理をコントロールする立場にない場合でも、他の投資家やパートナーと協働して ESG に関する共通のアジェンダやアプローチを策定し、アジェンダの実施に役立つ措置を可能な限り支援することは、優れた取り組みであると考えられます。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID PE 11	依存関係	OO 21	サブセクション モニタリング	PRI 原則 2	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし			

現在、投資期間中に **ESG アクション・プラン**をどのように定義、実施、モニタリングしているか説明してください。

[自由記述(任意):ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は署名機関に対して、投資期間全体を通して ESG アクション・プランでどのような取り組みを利用しているかと、それらが価値創出とリスク管理にどう利用されているかを説明する機会を提供します。適切なシステムを設置して、継続的に課題を管理することが重要です。主なプロセスとして、ESG パフォーマンスの改善方法を特定するために各ポートフォリオ企業に対してアクション・プランを策定することなどが挙げられます。
他のリソース	その他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド:プライベート・エクイティ(An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。 詳細については、 ESG アクション・プランに関する BII(旧 CDC グループ)のガイダンス(BII (formerly CDC Group) guidance on ESG action plans) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 12	ゲートウェイ	PE 12.1	モニタリング	1、2	コア

どのようにしてポートフォリオ企業レベルでの十分な ESG 関連コンピタンスを確保していますか。

プライベート・エクイティ投資で少数持分を持つ投資家は、ポートフォリオ企業レベルでの十分な ESG 関連コンピタンスを確保するために、協調投資の状況でエンゲージメントを行うポートフォリオ企業、過半数の株主、および／または主要投資家に対してどのように影響を与えているかについて、オプションを選択してください。

<input type="checkbox"/> (A) ESG 課題の責任を取締役に課している	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのプライベート・エクイティ投資が対象 (2)過半数のプライベート・エクイティ投資が対象 (3)一部のプライベート・エクイティ投資が対象
<input type="checkbox"/> (B)重要な ESG 課題は年 1 回以上取締役会で協議するよう徹底している	[同上]
<input type="checkbox"/> (C)経営幹部レベルの管理者のみに、ポートフォリオ企業に関連する ESG の側面と管理に関するベスト・プラクティスについての研修を行っている	[同上]
<input type="checkbox"/> (D)社員(経営幹部レベルの管理者を除く)に、ポートフォリオ企業に関連する ESG の側面と管理に関するベスト・プラクティスについての研修を行っている	[同上]
<input type="checkbox"/> (E)ポートフォリオ企業の ESG 戦略の策定と導入を支援している	[同上]
<input type="checkbox"/> (F)外部の ESG 専門家(例:コンサルタントまたは監査人)を見つけることによりポートフォリオ企業を支援している	[同上]

<input type="checkbox"/> (G)ポートフォリオ企業全体にわたるベスト・プラクティスを共有している(例:教育セッション、または環境および社会的マネジメント・システムの導入)	[同上]
<input type="checkbox"/> (H)ESG パフォーマンスを改善するためのペナルティやインセンティブを経営陣の報酬制度に適用している	[同上]
<input type="checkbox"/> (I)その他 具体的に記入: _____ [自由記述(必須):スモール]	[同上]
<input type="radio"/> (J)ポートフォリオ企業レベルでの十分な ESG 関連コンピタンス確保していない	

説明	
指標の目的	本指標の目的は、署名機関が戦略、ポリシー、研修への取り組みを通して、ポートフォリオ企業レベルでの十分な ESG 関連のコンピタンスをどのように確保しているかを評価することです。すべてのプライベート・エクイティ投資に関して、十分な ESG 関連のコンピタンスがポートフォリオ企業レベルで存在することを確保すること(重要な ESG 要因に関して取締役会レベルで関心を持たれていることを含む)は、優れた取り組みであると考えられます。これらの取り組みを定期的に見直し、パフォーマンスと一般的なニーズに応じて調整する必要があります。
追加報告ガイダンス	本指標において、「外部の ESG 専門家」とは、コンサルタントまたはその他の署名機関の外部専門家による ESG に関する助言を指します。 「経営幹部レベル」とは、組織を管理する日常的な責任を負う個人からなるチームを意味します。経営幹部レベルのスタッフは、企業内で(英語では)senior management、executive management、executive leadership team、top management、upper management、higher management、または単に seniors という場合もあります。 取締役会による ESG 監視機能に関する詳細は、 BII(旧 CDG Group)の ESG ガイドラインの取締役会監視機能(Board Oversight of ESG Guidance) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	[PE 12.1]

評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 5 つの組み合わせに基づいて決定されます。			
	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~H から 5 つ以上選択した場合は 50 ポイント。ただし、A、B から 1 つまたは両方選択されていることが必須。 A~H から 4 つ、または C~H から 5 つあるいはそれ以上選択した場合は 33 ポイント。 A~H から 2~3 つ選択した場合は 16 ポイント。 A~I から 1 つ、または J を選択した場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から H の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて (1) の場合は 50/5 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/5 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/5 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「J」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p>
「その他」の採点	「その他 (I)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	High(高)			

指標 ID	依存関係	PE 12	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 12.1	ゲートウェイ	該当なし	モニタリング	1、2	プラス 自主開示

報告年度中に、ESG コンピタンス構築のポートフォリオ企業レベルでの取り組みの一環として実施したイニシアティブについて、2 つまで説明してください。

署名機関はこの機会を利用して、前の指標で選択したオプションについて詳しく説明してください。

(A) イニシアティブ 1 _____ [自由記述(任意): ラージ]

(B) イニシアティブ 2 _____ [自由記述(任意): ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関に対して、ESG コンピタンス構築の取り組みにおいて署名機関が興味深い、革新的または先進的と考える事例を詳しく説明する機会を提供します。
追加報告ガイダンス	署名機関は、特定のプロセスが選択された経緯と理由、そのプロセスの実行責任者、プロセスを適用したことによる成功や教訓などの詳細を含めることができます。署名機関は、重要な ESG 要因が正当に配慮され、かつ ESG コンピタンスにおいて継続的な改善がなされることを確保するため、署名機関がポートフォリオ企業に関与してどのような影響を及ぼすかについて強調することもできます。
ロジック	
依存関係	[PE 12]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

エグジット[PE 13]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 13	ゲートウェイ	該当なし	エグジット	4、6	コア
<p>報告年度中に、貴組織はプライベート・エクイティ投資の潜在的買い手とどの責任投資情報を共有しましたか。</p>					
<input type="checkbox"/> (A) 責任投資に対する当組織のコミットメント概要(例えば、当組織が PRI 署名機関であるということ)			[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのプライベート・エクイティ投資が対象 (2)過半数のプライベート・エクイティ投資が対象 (3)一部のプライベート・エクイティ投資が対象		
<input type="checkbox"/> (B) 自社が遵守する業界および資産クラスの基準(例:TCFD)に関する説明			[同上]		
<input type="checkbox"/> (C) 当組織の責任投資ポリシー(少なくとも、主要な側面と会社独自のアプローチの概要)			[同上]		
<input type="checkbox"/> (D) 当組織の ESG リスク評価方法(組織内でおよび/または組織外の支援により取り扱った話題)			[同上]		
<input type="checkbox"/> (E) 資産またはポートフォリオ企業に関する自社の最新の ESG リスク評価の結果			[同上]		
<input type="checkbox"/> (F) 売却する資産またはポートフォリオ企業に関する主要な ESG パフォーマンス・データ			[同上]		
<input type="checkbox"/> (G) その他			[同上]		

具体的に記入: _____ [自由記述(必須):スモール]	
○ (H) 報告年度中に、プライベート・エクイティ投資の潜在的な買い手に責任投資情報を共有しなかった	
○ (I) 報告年度中に、売却プロセスがなかった(または売却プロセスを管理していなかった)ため、該当しない	

説明	
指標の目的	<p>本指標の目的は、署名機関が ESG 関連情報を売却プロセスに含めているかどうか把握することです。プライベート・エクイティ投資に関する ESG 関連情報をエグジット前に潜在的な買い手に開示することは、優れた取り組みであると考えられます。この情報を共有することで、買い手が利用できるデータの網羅性が高まり、売り手に代わって適切なステewardシップを示すことができます。</p> <p>優れた ESG の取り組みの証拠をポートフォリオ企業の潜在的買い手に提供することにより、買い手は、潜在的な ESG のリスクと機会をより可視化することができます。また、それによって、ポートフォリオ企業とその価値に関して、情報に基づいた意思決定を行えるとともに、重要な ESG 要因の非開示による潜在的な法的問題または評判の問題を回避することができます。</p>
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド: プライベート・エクイティ (An introduction to responsible investment: private equity) を参照してください。 https://www.fsb-tcfd.org/</p>
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	<p>本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 4 つの組み合わせに基づいて決定されます。</p>

	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~F から 4 つ以上選択した場合は 50 ポイント。ただし、D~F から 1 つ以上選択されていることが必須。</p> <p>A~F から 3 つ選択した場合は 33 ポイント。</p> <p>A~F から 1~2 つ選択した場合は 16 ポイント。</p> <p>G、H の場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から F の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです:</p> <p>すべて(1)の場合は 50/4 ポイント。</p> <p>過半数(2)の場合は 25/4 ポイント。</p> <p>一部(3)の場合は 12/4 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「H」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>「I」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。</p> <p>署名機関は、本指標のために減点されることはありません。</p>
「その他」の採点	「その他(G)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	Moderate(中)			

ESG ポートフォリオ情報の開示[PE 14]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
PE 14	ゲートウェイ	該当なし	ESG ポートフォリオ情報の開示	6	コア

報告年度中に、どのようにして投資家に重要な ESG 要因の目標と関連データを報告しましたか。

- (A) 一般公開されたサステナビリティ報告書を使用した
- (B) 投資家への公式な報告により全体として報告した
- (C) 投資家への公式な報告によりポートフォリオ企業レベルで報告した
- (D) リミテッド・パートナーの諮問委員会(またはそれに相当するもの)を通して報告した
- (E) 投資家とのデジタルまたは物理的なイベントまたは会議で報告した
- (F) 重大な ESG インシデントが発生した場合の報告プロセスを整備した
- (G) その他
具体的に記入: _____ [自由記述(必須): スモール]
- (H) 報告年度中に、投資家に重要な ESG 要因の目標と関連データを報告しなかった

説明

指標の目的	<p>本指標の目的は、プライベート・エクイティ投資に関連する重要な ESG 要因の目標と関連データの伝達についての署名機関特有のアプローチを理解し、署名機関が責任投資慣行に関する情報の透明性のレベルについて明示できるようにすることです。署名機関にとって、年に 1 回またはそれより頻繁に投資活動に関する情報を一般および投資家に開示することは、優れた取り組みであると考えられます。</p> <p>プライベート・マーケットでの投資は、パブリック・マーケットほど透明性が高くありません。その結果、プライベート・マーケットの運用会社は、投資家に対して透明性を保ち、ESG 関連ポートフォリオの情報を積極的に報告する追加的な責任を負います。加えて、複数の国・地域では現在、運用会社に対して ESG 関連ポートフォリオの情報を顧客に報告するよう義務付ける規則を策定中です。</p>
他の基準の参照	<p>業界主導の標準化された ESG 指標セットの事例については、ESG データ・コンバージェンス・プロジェクト(ESG Data Convergence Project)を参照してください。</p>

ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A～F から 5 つ以上選択した場合は 100 ポイント。ただし、A が選択されていることが必須。</p> <p>A～F から 4 つ選択した場合は 66 ポイント。ただし、A が選択されていることが必須。</p> <p>A～F から 1～3 つ選択した場合は 33 ポイント。ただし、A が選択されている(または B～F から 2～5 つ選択されている)ことが必須。</p> <p>B～G から 1 つ、または H を選択した場合は 0 ポイント。</p>
「その他」の採点	「その他(G)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。
乗数	Moderate(中)

その他の詳細:
「H」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。